

- 問1 日本銀行が一般の銀行に対して国債を売却し、市場の資金を引き上げる政策を実施する「背景」と「目的」について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 景気が過熱している際、通貨量を減らすことで物価の上昇を抑え、景気を安定させるため | 2. 景気が後退している際、通貨量を増やすことで企業の投資を促し、景気を刺激するため | 3. 円高を是正するために、外国為替市場において大量の日本円を供給し、通貨価値を下げるため | 4. 政府の財源が不足している際、市場から一時的に資金を借り入れることで予算を確保するため |
|---|--|---|---|
-
- 問2 日本銀行が「買いオペレーション」を実施した際に生じる、経済への影響についての説明として、背景や因果関係が正しいものはどれですか。 (2026年 鳥取公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 市場の資金供給量が増加し、金利が低下することで、企業の設備投資や個人の住宅購入が促される。 | 2. 市場の資金供給量が減少し、金利が上昇することで、物価の上昇を抑えてイン플레이ションを防ぐ。 | 3. 民間銀行の資金が不足し、金利が上昇することで、家計が貯蓄を増やし消費が抑制される。 | 4. 通貨の流通量が制限され、金利が低下することで、円の価値が急激に高まり輸出産業が活性化する。 |
|--|--|--|--|
-
- 問3 日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれている理由として、その具体的な業務の説明として適切なものを選んでください。 (2023年 奈良公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|--|
| 1. 市中の銀行などの金融機関に対して、資金の貸し出しや預金の受け入れを行うため | 2. 国内のすべての銀行の支店配置や営業時間を決定する権限を持っているため | 3. 銀行の窓口で市民が預け入れた預金の全額を、日本銀行が常に保管しているため | 4. 民間銀行が経営難に陥った際、その銀行の株主となって経営を完全に代行するため |
|--|---------------------------------------|---|--|
-
- 問4 現代の経済活動において、企業が株式や債券を発行して資金を調達する「直接金融」の仕組みに関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|--|
| 1. 企業が自ら証券を売り出し、家計などの資金供給者から直接資金を調達する仕組み | 2. 銀行が家計から集めた預金を原資として、企業に資金を貸し出す仕組み | 3. 政府が国民から集めた税金を、公共事業や経済対策を通じて企業に分配する仕組み | 4. 日本銀行が通貨を発行し、市場の資金量を調整することで企業の活動を支援する仕組み |
|--|-------------------------------------|--|--|
-
- 問5 日本銀行が実施する「買いオペレーション」の目的と、その際の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 徳島公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 不況の際に、日本銀行が国債を買い入れることで、世の中に出回る通貨量を増やし、景気の回復をはかる。 | 2. 好況の際に、日本銀行が国債を買い入れることで、世の中に出回る通貨量を増やし、過度な物価上昇を抑える。 | 3. 不況の際に、日本銀行が国債を売却することで、世の中に出回る通貨量を減らし、景気の回復をはかる。 | 4. 好況の際に、日本銀行が国債を売却することで、世の中に出回る通貨量を減らし、過度な物価上昇を抑える。 |
|---|---|--|--|
-
- 問6 景気が過熱し、物価が上がり続けるイン플레이ションの懸念があるとき、日本銀行は景気を落ち着かせるための金融政策を行います。この際、日本銀行が実施する「売りオペレーション」の内容と、それによって期待される市場の変化として正しいものはどれですか。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場に出回る通貨量を減らすことで、景気を抑制する。 | 2. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場に出回る通貨量を増やすことで、景気を刺激する。 | 3. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場に出回る通貨量を増やすことで、消費を活性化させる。 | 4. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場に出回る通貨量を減らすことで、物価の下落を防ぐ。 |
|--|---|--|--|
-
- 問7 日本銀行の主な役割には「発券銀行」「銀行の銀行」「政府の銀行」の3つがありますが、このうち「銀行の銀行」としての機能について説明した文として正しいものを次から選びなさい。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|-------------------------------------|---|
| 1. 景気が悪化した際に、民間の金融機関に資金を貸し出すことで、世の中に出回るお金の量を増やす。 | 2. 国の公金を取り扱い、公共事業などに必要な資金を政府に対して貸し出す。 | 3. 家計が銀行に預けた預金の一部を、日本銀行が直接預かって管理する。 | 4. 新しく発行された日本銀行券を、直接各家庭や企業に配布して経済を活性化させる。 |
|--|---------------------------------------|-------------------------------------|---|
-
- 問8 日本銀行が「売りオペレーション」を行った際に、市場の金利や経済活動に与える影響として正しい組み合わせはどれですか。 (2022年 静岡公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 市場の通貨量が減少し、金利が上昇することで、企業や家計の資金借入が抑制される。 | 2. 市場の通貨量が増加し、金利が低下することで、企業や家計の資金借入が活発になる。 | 3. 市場の通貨量が減少し、金利が低下することで、物価の下落がさらに加速する。 | 4. 市場の通貨量が増加し、金利が上昇することで、輸出企業の国際競争力が高まる。 |
|--|--|---|--|
-
- 問9 現代の経済における資金調達の仕組みにおいて、「直接金融」の説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岐阜公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|-------------------------------------|--|
| 1. 企業が証券市場を通じて株式や債券を発行し、投資家から資金を調達する仕組み | 2. 銀行などの金融機関が預金者から集めた資金を、企業や個人に貸し出す仕組み | 3. 日本銀行が市中の資金量を調節するために、国債などを売買する仕組み | 4. 家計から出された預金金が、金融機関の貸し出しを通じて社会全体の通貨量を増やす仕組み |
|---|--|-------------------------------------|--|
-
- 問10 不景気のとき、中央銀行である日本銀行は、市場に出回る通貨の量を調整することで景気を回復させようとします。このとき実施される「買いオペレーション（公開市場操作）」の仕組みとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 日本銀行が民間金融機関から国債などを買い取り、その代金を支払うことで市場の通貨量を増やす | 2. 日本銀行が民間金融機関に国債などを売り、その代金を受け取ることで市場の通貨量を減らす | 3. 日本銀行が政府と協力して所得税の減税を行い、家計が自由に使えるお金を増やす | 4. 日本銀行が必要と供給のバランスを直接操作し、公共料金を一時的に引き下げる |
|---|---|--|---|
-
- 問11 家計が銀行に預金をして受け取る利子を「利子A」、家計が銀行から資金を借りて銀行に支払う利子を「利子B」としたとき、銀行が利益を得て経営を成り立たせるために取られている一般的な手法として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 京都公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------------|
| 1. 利子Bの利率を、利子Aの利率よりも高く設定する。 | 2. 利子Bの利率を、利子Aの利率よりも低く設定する。 | 3. 利子Aと利子Bの利率を、常に同じ数値に設定する。 | 4. 家計から預かった預金を、すべて無利子で他の家計に貸し出す。 |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------------|
-
- 問12 外国為替市場において、1ドル=100円だった為替レートが1ドル=140円になるような、他国の通貨に対して日本円の価値が相対的に下がる現象を何と呼びますか。また、その際、海外から輸入される牛肉などの輸入価格はどう変化しますか。正しい組み合わせを選びなさい。 (2026年 鳥取公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 円安となり、輸入価格が上昇する | 2. 円安となり、輸入価格が下落する | 3. 円高となり、輸入価格が上昇する | 4. 円高となり、輸入価格が下落する |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 景気が過熱している際、通貨量を減らすことで物価の上昇を抑え、景気を安定させるため	好況時には、人々の買い物が盛んになり、通貨が市場に溢れて物価が急騰するリスクがあります。日本銀行は国債の売却を通じて、銀行が企業や個人に貸し出せる資金を減らし、経済活動を適度に落ち着かせることで、国民生活に悪影響を及ぼす過度な物価高騰を防ぐ役割を担っています。
問2	答え 1 市場の資金供給量が増加し、金利が低下することで、企業の設備投資や個人の住宅購入が促される。	日本銀行が買いオペレーションを行うと、民間銀行が持つ資金に余裕が生まれます。資金の供給が増えると、お金を借りる際のコストである「金利」が低下します。金利が下がれば、企業は新しい工場を建てるための資金を借りやすくなり、個人もローンを組んで住宅を買いやすくなるため、社会全体の景気を向上させる要因となります。
問3	答え 1 市中の銀行などの金融機関に対して、資金の貸し出しや預金の受け入れを行うため	日本銀行は私たち一般の個人や企業とは取引を行わず、民間の銀行（市中銀行）などの金融機関を相手に取引を行います。具体的には、民間銀行に対して資金を貸し出したり、民間銀行が持っている余剰資金を日本銀行の当座預金として受け入れたりします。このため、銀行のための銀行という意味で「銀行の銀行」と呼ばれます。この仕組みを利用して、景気の状態に応じて通貨の流通量を調節する金融政策が行われます。
問4	答え 1 企業が自ら証券を売り出し、家計などの資金供給者から直接資金を調達する仕組み	資金が必要な企業が、株式や債券といった証券を発行し、それを投資家（家計など）が直接購入することで資金が流れる仕組みを直接金融といいます。金融機関はあくまで売買の仲介（証券会社など）を行うのみで、銀行預金のように「一度銀行の資産として預かる」工程を経ない点が特徴です。選択肢にある「銀行による貸出し」は間接金融の説明であり、直接金融とは資金の流れが異なります。
問5	答え 1 不況の際に、日本銀行が国債を買い入れることで、世の中に出回る通貨量を増やし、景気の回復をはかる。	買いオペレーションは、景気が悪い（不況）ときに行われる金融政策です。日本銀行が市場から国債を買うことで、市場に流通するお金の量が増加し、金利が下がる傾向になります。その結果、企業が銀行からお金を借りやすくなり、設備投資などが活発になることで景気を向上させようとしています。反対に、好況時には通貨量を減らすために売りオペレーションが行われます。
問6	答え 1 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場に出回る通貨量を減らすことで、景気を抑制する。	好景気でインフレーションが懸念される場合、日本銀行は保有する国債を民間銀行に売却します。これを売りオペレーションと呼びます。民間銀行が国債を購入する代金として日本銀行にお金を支払うため、市場に出回る通貨量が減少し、結果として企業の投資や個人の消費が抑えられ、物価の上昇が抑制されます。
問7	答え 1 景気が悪化した際に、民間の金融機関に資金を貸し出すことで、世の中に出回るお金の量を増やす。	日本銀行は「銀行の銀行」として、民間金融機関と取引を行います。景気後退期には、民間金融機関に資金を貸し出すなどして、企業や個人にお金が回りやすくする金融政策を実施します。政府にお金を貸し出すのは「政府の銀行」としての役割であり、一般の家計や企業と直接取引をすることはありません。
問8	答え 1 市場の通貨量が減少し、金利が上昇することで、企業や家計の資金借入が抑制される。	売りオペレーションによって民間銀行の資金が日本銀行に吸収されると、銀行が貸し出しに回せるお金が少なくなります。希少となった資金の「価格」にあたる金利は上昇し、高い金利を嫌って企業や家計はお金を借りにくくなります。これにより、消費や投資といった経済活動が落ち着き、物価の上昇を抑える方向に働きます。
問9	答え 1 企業が証券市場を通じて株式や債券を発行し、投資家から資金を調達する仕組み	直接金融は、資金の出し手（投資家）と借り手（企業など）が、証券市場を介して直接結びつくのが特徴です。一方、銀行が間に入って預金者の資金を貸し出す形態は「間接金融」と呼ばれ、日本の資金調達において長く中心的な役割を果たしてきました。
問10	答え 1 日本銀行が民間金融機関から国債などを買い取り、その代金を支払うことで市場の通貨量を増やす	日本銀行が実施する金融政策の一つである「買いオペレーション」は、景気が悪い時期に行われます。日本銀行が民間金融機関の保有する国債などを買い取ることで、その対価として支払われた資金が民間金融機関に流れ込みます。その結果、世の中に出回る通貨量が増加し、景気を刺激する効果が期待されます。逆に、国債を売って通貨量を減らすのは景気が過熱している際に行われる「売りオペレーション」です。
問11	答え 1 利子Bの利率を、利子Aの利率よりも高く設定する。	銀行は、多くの家計から集めた「預金」を、資金を必要とする家計や企業に「貸し出し」しています。この際、貸し出す側から受け取る利子（利子B）を、預金者に支払う利子（利子A）よりも高く設定することで、その差額（利ざや）を銀行の運営費用や利益に充てるという仕組みになっています。
問12	答え 1 円安となり、輸入価格が上昇する	1ドルを交換するために必要な日本円が100円から140円に増えることは、ドルに対して円の価値が下がったことを意味するため「円安」と呼びます。この状況では、海外から1ドルの商品を買い付ける際により多くの円を支払わなければならないため、輸入価格は上昇し、家計や企業のコスト負担が増加する要因となります。